

取扱説明書

DAYTONA

S16831①/⑧

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

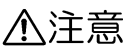
レザーウォッシュ ジャケット用	適応車種	商品NO.
	皮革衣類用	16831

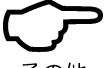
■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取扱方法に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

 警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
 注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

警告

 応急処置	・万が一、飲み込んだ場合は無理に吐かせず直ちに医師の診断を受けてください。 ・吸入した場合は空気が新鮮で風通しの良い場所へ移し、休息してください。 ・目に入った場合は水で十分に洗い流し、直ちに医師の手当てを受けてください。コンタクトレンズ着用で容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 ※異常がある場合は医師の診断を受けてください。
 保管&廃棄	・日光を避け、容器を密栓し常温の屋内（冷暗所など）で子供の手の届かない場所に保管してください。 ・廃棄する際は中身を使いきり、自治体のゴミ処理方法に従って廃棄してください。

注意

 禁止	・洗濯・脱水後に乾燥機やドライヤー、アイロンの使用や天日干しは絶対にしないでください。皮革は水分を含んだ状態で 30℃以上の熱を受けると縮みや硬化をして元に戻りません。 ・スチームアイロンは皮革の縮みや硬化の原因となるため絶対に使用しないでください。 ・洗濯液、すすぎ液ともに水で洗い流すことはしないでください。皮革に影響を与え、縮み、色落ちなどの原因となります。 ・ヌメ革・爬虫類革にご使用できません。 ・全体、または部分的に毛皮で覆われている製品はご使用できません。 ・毛皮製品には、ご使用できません。 ・みょうばんナメシの皮革製品にご使用できません。 ・ブランド製品や高額製品などは繊細な染色を施すために色落ちしやすいものが多数あります。革製品の特性上、個々での性質に差があり、皮革の劣化状態などによって仕上がりに差が生じます。新品同様の仕上がりとなる保証はできませんので、原則としてご使用はお控えください。
---	---

⚠注意



実施

- ・使用前に必ず本取扱説明書を熟読し、取扱方法に沿ってご使用ください。取扱説明書に明記している内容に沿って作業を行わず、革製品に不具合が生じた場合は、賠償に応じることができません。
- ・使用前に必ず本商品でチェック液を作り、目立たない部分で色落ち、変色のチェックを行ってください。（白い布にチェック液を付け、擦って確認してください。）布に色が付着したり変色する場合は本商品を使用しないでください。
- ※チェック液は原液をキャップ1杯に対して水100mℓの割合で作ってください。
- ・洗濯中に色移りする可能性があります。皮革衣料を同系色に仕分けて洗ってください。
- ・金属製のボタンやファスナー、装飾品などは洗濯中に皮革衣料をキズ付ける可能性があります。キズが付かない様にアルミホイルなどで覆うなどの処理を行ってください。
- ・本液（洗剤&柔軟剤）を使用する場合は水50ℓに対して本液50mℓの割合で使用してください。希釈し過ぎると色落ちや、革が硬くなったり、縮むことがあります。
- ・水温25℃以下でご使用ください。
- ・乾燥は風通しの良い場所で陰干ししてください。
- ・接着部が剥がれていたり、縫製がほつれている衣料は補修してからご使用してください。
- ・本商品の使用後は水と石鹸水で手を洗いクリームなどで手入れをしてください。また、肌が敏感な方、手荒れが気になる方は必要に応じて保護具を着用してください（お洗濯手袋等）



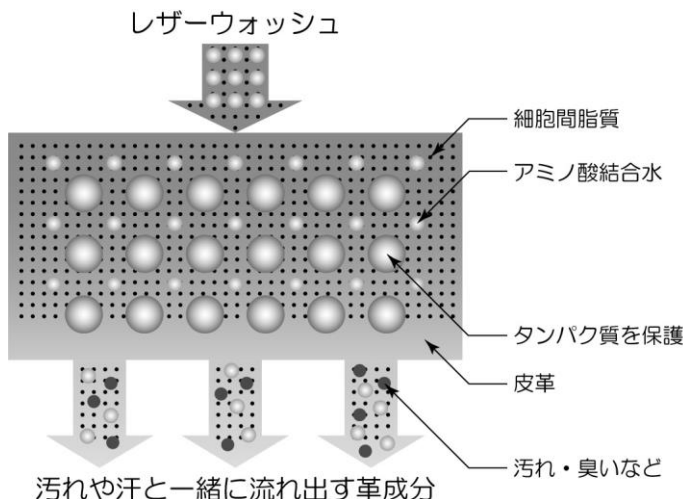
その他

- ・本来の用途以外の使用はしないでください。
- ・本商品は天然成分を含んでおり、乳白色になる場合がありますが機能・性能には問題ありません。
- ・日光で変色、退色した衣類でシミ汚れが部分的にある場合は汚れが落ちても目立つ場合があります。
- ・薄い淡い色の起毛皮革衣類はカビが浮き出たり、カビの除去した跡や中から濃いシミが浮き出てきたりしてシミが残る場合があります。
- ・エンジンオイル、グリス、ペイントなどの油汚れや、古くなった血液の汚れは落としきれない場合があります。
- ・赤や青の色や起毛素材は色落ちしやすい傾向があります。

本商品の特徴

- ・「皮革衣料が水洗いできる」従来の常識を覆す驚きの皮革用洗剤
- ・皮革衣料に潤いと栄養を与えながら洗濯機で洗えるため、誰でも簡単にプロの様に洗濯できます。
- ・皮革用に調整した洗剤なので革の色落ち、縮みを抑え、しなやかに仕上がります。
- ・汗染みや頑固なカビを簡単に落とせます。
- ・消臭・除菌・抗菌効果で清潔かつ快適さを保ちます。
- ・ヌバック、スウェード、バックスキンの起毛革にも使用可能。
- ・皮革衣料用。

【レザーウォッシュとは】



プロも認める革専用洗剤！

革の「汚れ」「臭い」「カビ」を強力に洗い流し、革に「潤い」と「栄養」を与えます。さらに「除菌」「抗菌」効果で清潔さ、快適さを保ちます。

■レザーウォッシュの仕組み■

革を構成している成分「タンパク質」、「細胞間脂質」、「アミノ酸結合水」等はアルカリや水に弱く、普通の洗剤で洗うと汚れと一緒に成分が溶け出してしまいます。それが革の硬化や縮み、色落ち等へ繋がります。

レザーウォッシュは水のPHを調整し、水に流出する成分を新たに補給しながら洗うため、革の成分を保護しながら汚れを落とし、さらに補給された成分が革本来の特性を蘇らせます。

従来の常識を覆した皮革用洗剤が「レザーウォッシュ」です！

商品内容

NO	パーツ名	サイズ (ml)	数量	NO	パーツ名	サイズ (ml)	数量
①	皮革用栄養洗剤	100	1	②	皮革用柔軟仕上剤	100	1

取扱方法

【作業前の注意事項】

- ・本商品を使用する前に、必ず注意事項をお読みの上で洗濯を行なってください。
- ・本商品は皮革衣料用となります。
- ・革製品の中には色止めしていない物や染色の定着が弱い物があり色落ちする物があります。
必ず目立たない部分で試してからご使用ください。
- ・接着部が剥がれていたり、縫製がほつれているなどのダメージを負った皮革衣料品は
必ず補修してから洗濯を行なってください。

LEATHER WASH FOR RAIDING JACKET LEA

洗濯の簡易チャート

AET LEATHER WASH FOR RAIDING JACKET

洗える皮革製品

- ・「牛」「豚」「鹿」「羊」「山羊」「カンガルー」「ダチョウ」などの皮革
- ・「スムース」「ヌバック」「スウェード」「バックスキン」の起毛皮革
- ・「レザージャケット」「レザーパンツ」「革と生地のコンビ衣類」など皮革衣類全般

洗えない皮革製品

- ・「ヌメ革」「爬虫類革」など
- ・毛皮が付いている皮革衣料全般
- ・純白の天然毛皮&ファー
- ・みょうばんナメシの皮革
- ・色落ちテストで色移りや変色する皮革製品
- ・著しくダメージを負った皮革製品（※合皮製品含む）
- ・衣類以外の皮革製品

01. 同系色に仕分け



02. 色落ちチェック



03. 洗濯 ※5～6分



04. すすぎ洗い ※2～3分

05. 脱水 ※1～3分



06. シワを伸ばす



07. 陰干し



皮革製品は、ていねいな作業を行なうことで仕上りに違いが出ます。次ページからの詳細手順を参考に洗濯を行なってください。

01.同系色に仕分け

■同系色に仕分け

- ・皮革衣料を同系色に仕分けしてください。
- ・革製品はその工程上、色落ちしやすい性質がございます。そのため洗濯中に色移りする可能性があるため、同系色の皮革衣料に仕分けて洗ってください。

02.色落ちチェック

■色落ちチェック

- ・色落ちや変色の確認を行なってください。
- ・チェック液の作成をしてください。水 100mℓ に対してボトルキャップ 1～2 杯分の①皮革用栄養洗剤を混ぜ合わせてください。
- ・白いタオルにチェック液をしみ込ませ、襟裏などの目立たない場所を軽く擦ってください。
- ・白いタオルに色が付く場合は色落ちの危険性があるため洗わないでください。また、皮革衣料側が変色する場合も洗わないでください。



03.洗濯

■カビや汚れ除去

- ・洗濯前にひどい汚れやカビがある場合は、部分洗いしてください。
- ・色落ちチェックで作成したチェック液を布にしみ込ませ汚れやカビを取り除いてください。

※油性汚れに対しては、十分な洗浄効果が発揮できない場合がございます。

※時間が経過して、皮にしみ込んだ汚れは新品同様までにクリーニングはできません。

※カビが深くまで侵食している皮革衣料はカビのシミや跡が残ってしまう場合がございます。

■各部のキズ防止保護

- ・洗濯中に皮革衣料をキズつける可能性がある金属製のボタンや、装飾パーツなどで角部がシャープなものや鋭利なものは、キッチン用アルミ箔などで全体を覆い保護してください。
- ・洗濯中の型くずれ防止のために、ボタンやファスナー類は必ず閉じてください。その後も閉じた状態を保持して作業を行なってください。

■洗濯ネットに入れる

- ・皮革衣料の大きさに合わせた洗濯ネット（市販品を別途ご用意ください）へ型くずれしない様に整えながら入れてください。
- ・カビや汚れのある部分を外側にして、洗濯ネットに入れてください。



■洗濯液を作ります

- ・洗濯槽に皮革衣料の量に合わせて適量の水量をセットしてください。
- ・次に下記の表を参考に①皮革用栄養洗剤を洗濯槽に入れます。

【希釈の目安表】

洗濯衣料の量	水量	①洗剤&②柔軟剤	※希釈倍率は「水：洗剤＝1000：1」の割合になります。希釈が濃い場合は問題ありませんが、薄い場合は色落ちや革が硬くなったり、縮みの原因となります。ご注意ください。
3kg	30ℓ	30mℓ	
5kg	50ℓ	50mℓ	
10kg	100ℓ	100mℓ	

■ご注意

- ・洗濯機の種類により、セットできる水量が違います。洗濯機の水量に合わせて①皮革用栄養洗剤（または②皮革用柔軟仕上剤）を適量入れてください。
- ・「全自動洗濯機」「半自動洗濯機」「ドラム式洗濯機」のいずれも使用できますが、必ず、洗濯機を手動式にして洗濯を行なってください。
- ・乾燥機や乾燥機能は絶対に使用しないでください。
- ・水温は常温（25℃以下）を使用します。ぬるま湯やお湯は使用しないでください。
- ・洗濯衣料の量に対して、洗濯機の容量が足りない場合は浴槽を使い揉み洗いしてください。
- ・揉み洗いの場合、洗濯液とすすぎ液でそれぞれ洗い、脱水は洗濯液を良く洗い落としてからバスタオルなどで十分に吸水してください。



■洗濯します

- ・洗濯ネットに入れた皮革衣料を洗濯槽に入れて、洗濯を開始してください。
- ・洗濯時間は5～6分程度です。カビや汚れがひどい場合は7～8分洗ってください。

※通常衣料に比べて皮革衣料は浮きやすいため、水面に浮いた場合は手で水の中に押し込んでください。

※洗濯液を水で洗い流すことはしないでください。

皮革に影響を与え、縮み、色落ちなどの原因となります。

04.すすぎ洗い

■洗濯液を排水

- ・洗濯液を全て排水してください。

■軽く脱水

- ・30秒ほど軽く脱水を行なってください。その後、皮革衣料を取り出してください。

■すすぎ液を作ります

- ・洗濯槽に皮革衣料の量に合わせて適量の水量をセットしてください。
- ・②皮革用柔軟仕上剤の希釈率は①皮革用栄養洗剤と同じ割合になります。洗濯液を作った「希釈目安表」を参考に②皮革用柔軟仕上剤を洗濯槽に入れます。

■すすぎ洗い

- ・軽く脱水した皮革衣料を洗濯槽に入れて、すすぎ洗いを開始してください。
- ・すすぎ時間は2～3分程度です。

※通常衣料に比べて皮革衣料は浮きやすいため、洗濯の時と同様に水面に浮いた場合は手で水の中に押し込んでください。

※すすぎ液を水で洗い流すことはしないでください。皮革に影響を与え、縮み、色落ちなどの原因となります。

05.脱水

■すすぎ液を排水します

- すすぎ液を全て排水してください。

■脱水します

- 1～3分ほど脱水してください。
- しずくが垂れる場合は追加で脱水をしてください。

■各部の水気を吸水します

- 脱水しきれない、各部の水気をていねいに吸水します。
- 洗濯ネットより皮革衣料を取り出し、内側と外側をタオルなどで吸水します。

※特に内側を念入りに吸水してください。

06.シワを伸ばす

■シワを伸ばします

- 柔らかい布で、なでながら洗濯シワを取ってください。
- 脱水後の皮革衣料は縮んだ状態になります。皮革衣料を全体的に引っ張ってください。また乾燥するまでの間に何度か全体を引っ張る作業を行なうことで、上手に仕上がります。

【ご注意】

- 皮革は濡れた状態ですと柔軟性が強くシワがやすいため、柔らかい布でていねいに擦りながらシワを取ってください。
- 引っ張り作業が不十分な場合、乾燥後に裏生地がたるむ現象が発生します。



【スムーズレザーケアのコツ】

- 布に極わずかの保革クリーム（市販品を別途ご用意ください）をつけシワを伸ばすと、よりしなやかな仕上がりとなります。

※保革クリームによっては皮革の色が濃くなる場合があります。

目立たない場所で必ず確認を行ってください。詳細は各保革クリームの説明書をご確認ください。

07.陰干し

■陰干しします

- 革衣料はていねいに形を整えてから、ハンガーに吊るしてください。
- 風通しの良い場所で陰干ししてください。

【上手に仕上げるコツ】

- 水分を含んだ皮革衣料は重量があり型崩れを起こし、やすくなっております。ハンガーにタオルを巻き付け「肩パッド」の様にすると、型崩れを防止することができます。
- 半乾きの状態になった頃に各部を軽く手で揉みほぐすと仕上がりが良くなります。
- スエード&ヌバック製品は各専用ブラシで起毛させるか、乾いたタオルでこすり起毛させてください。

【ご注意】

- 皮革製品は水分を含んだ状態で温度が上がると、たんぱく質組織が変性・変質・破壊されたりするため直射日光や暖房器具を当てない様にしてください。



■完全に乾燥した後の状態について

【皮革衣料は乾燥後の状態で次の様に差異が発生します】

- ・洗う前よりも、柔らかくしなやかに仕上がるもの。
- ・洗う前と変わらず柔らかくしなやかに仕上がるもの。
- ・洗う前よりも、若干硬さを感じられるもの。

※皮革製品は動物の皮という天然素材を使用しているため、その性質は千差万別であり、皮革の劣化状態によって、どうしても仕上がりの差異に影響を及ぼしてしまいます。予めご了承ください。

【硬さを感じられた場合のコツ】

- ・全体を手で揉みほぐすことで、より柔らかくしなやかに仕上がります。
- ・タンブラー乾燥機がある場合は低温で 20 分ほど回転させてください。
- ・各皮革性質に適した皮革保護クリームなどで再度ケアをすることで、よりしなやかな仕上がりとなります。

【シワが残っている場合のコツ】

- ・シワの部分に当て布をして低温（100℃前後）のアイロンで、ていねいにプレスしてください。
- ・ジャケットやジャンパーなどの肩や袖部分、立体的な部分をアイロン掛けする場合は、バスタオルなどを筒状に丸めたものを中に入れて芯にすることで、上手に仕上げるができます。

ご注意

- ・スチームアイロンは使用しないでください。皮革組織にダメージを与えます。

Q&A

NO	ご質問内容	ご回答
01	全自動洗濯機やドラム式洗濯機でも皮革衣料は洗えますか？	必ず時間を見ながら、手動式で洗濯・排水・脱水を行なえば洗うことができます。
02	洗濯機の容量、能力が小さい場合はどうしたら良いですか？	皮革衣料の重量に対して、洗濯機の容量や能力が小さい場合は洗濯機で洗うことはできません。 大きなタライや浴槽を利用して揉み洗いをしてください。 この場合の洗濯液やすすぎ液は、それぞれ新しい水で作る洗濯とすすぎ洗いを行ない、脱水は洗濯液を良く洗い落としバスタオルなどで十分に吸水をしてください。
03	お湯で洗っても大丈夫ですか？	ぬるま湯やお湯では洗わないでください。皮革を傷める原因となります。常温の水（25℃以下）で洗ってください。
04	洗濯液はそのまま排水しても大丈夫ですか？	有害物質は一切含まれていない環境に優しい洗剤です。安心して生活排水の処理ができます。
05	洗濯ネットは必ず使うのですか？	洗濯、すすぎ、脱水まで、サイズの合ったネットに必ず入れてください。
06	肌荒れは大丈夫ですか？	化粧品に使われる保護成分が含まれているため通常は安全にお使いできます。ただし、敏感肌の方や皮膚疾患をお持ちの方、肌荒れの不安がある方は保護具（洗濯用手袋など）をご使用ください。
07	合成皮革の製品でも使えますか？	劣化していなければ、天然皮革と同様に洗うことはできます。しかし合成皮革衣料には、本商品の効果はほとんど発揮できないため、各合成皮革衣料で指示された洗浄方法をオススメします。
08	色々な皮革衣料を同時に洗っても大丈夫ですか？	皮革衣料であれば、まとめ洗いもできます。ただし、必ず洗濯ネットに入れ、同系色同士で洗う様にしてください。
09	水洗いなのに、色落ちなど本当に大丈夫ですか？	ほとんどの皮革衣料に対して問題なく使えます。しかし革製品は、その製造工程において色落ちしやすい性質があり、染色の弱い品は色落ちする場合がございます。洗濯を行なう前に、目立たない部分で必ず色落ち・変色のチェックを行なってください。
10	水洗いなのに、革は硬くならないのですか？	本商品に入っている皮革組織保護成分と皮革用柔軟成分が作用するため水洗いを可能にしております。
11	シミは完全に取り除けますか？	機械油やエンジンオイルなどの油汚れや、古くなった血液の汚れは落とし切れない場合があります。洗濯の前に原液を 1：10 の割合で薄めた液を布にしみ込ませ、汚れた部分を拭くことで、効果が上がります。

12	革一面にカビが生えてしまっていますが、洗うことはできますか？	カビは水溶性の汚れのため、水洗いで簡単に落とすことができます。ひどいカビ汚れの場合は洗濯前に原液をブラシやタワシに付けて擦って落としてください。 ※カビが深くまで侵食している場合は、きれいに取り除くことができない場合がございます。
13	皮が雨に当たって、ゴワゴワになってしまった衣料は蘇りますか？	本商品は革に栄養成分を補充しながら洗濯をします。そのため、しなやかさや潤いが回復し、ていねいに仕上げていくことで、革本来の質感や風合いが蘇ってきます。 ※皮革の劣化状況によっては、品質が戻らない場合もございます。
14	保革クリームなどは必要ですか？	各皮革にあった保革クリームをご使用ください。適した皮革クリームでない場合は、皮革の質感を損なう恐れがございます。 スモースレザーの場合は、脱水後に施工いただくことでしわを伸ばしやすくする効果もございます。
15	洗濯後にカビが生えてくる可能性はありますか？	皮革衣料の保管状況によっては再びカビが繁殖する可能性があります。カビの再発を抑えるためにも、風通しの良い場所に保管することをオススメいたします。また、スエードやヌバックなどの起毛素材はカビの跡が残ったり、濃いシミが浮き出てくる場合もございます。
16	陰干し後に若干の硬さを感じるのですが？	革は天然素材のため、その性質や劣化の状態、仕上りの工程によって、どうしても乾燥後の状態に差異が発生します。もし若干の硬さを感じられた場合は、その部分を手で揉みほぐすことで柔らかくしなやかさを回復します。
17	陰干し後に革衣料の全体が少し縮んでしまったのですが？	革衣料はその性質上、脱水後は縮んだ状態になります。このまま陰干しすると縮んだ状態で乾燥してしまいます。縮んでしまった場合は再度、本商品で洗濯を行ない、脱水後から乾燥までの間に何度か全体を引っ張ることで上手に仕上がります。
18	スエード製品の汚れを落とす際に強く洗いすぎてしまい「ささくれ」ってしまったのですが？	シェーバー（電気髭剃り）を軽く当てて「ささくれ」部分を取り除いてください。その後スエードブラシでやさしく撫でてください。
19	高額な物で、洗うのが心配なのですか？	ブランド製品などの高額品は繊細な染色を施すために色落ちしやすいものが多数あります。 革製品の特性上、個々での性質に差があり、皮革の劣化状態などによって仕上がりに差が生じます。 新品同様の仕上がりとなる保証はできませんので、原則としてご使用はお控えください。

東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805URL: <http://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで